

2022年2月7日

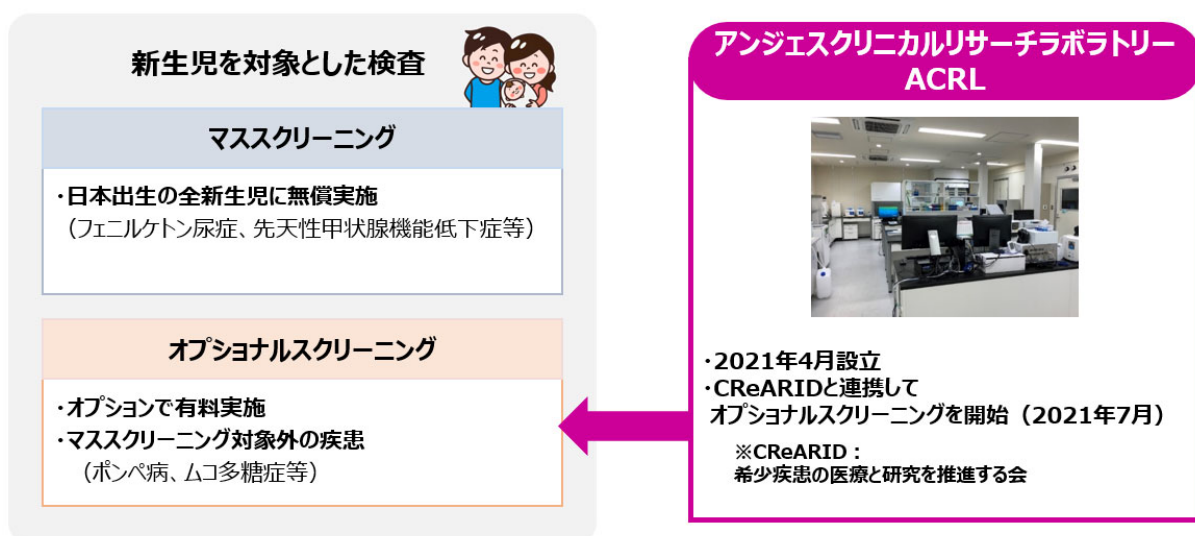
各位

会社名 アンジェス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田 英
 (コード番号 4563 東証マザーズ)

**(開示事項の経過) 希少遺伝性疾患検査拡大を目指す戦略と
 アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー(旧衛生検査所)名称決定のお知らせ**

当社は、2021年4月1日に開示した「希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所開設のお知らせ」に続き、希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所の正式名称を、希少遺伝性疾患検査拡大を目指して、「アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー(AnGes Clinical Research Laboratory: ACRL)」に決定したことをご報告いたします。当社は、この事業を収益の柱の一つとして位置づけ、検査対象疾患を増やし、検査業務拡大を進めてまいります。アンジェスクリニカルリサーチラボラトリーでは、設立後順調に検査業務を遂行しており、先天性の希少遺伝性疾患の早期発見に貢献しております。

アンジェスクリニカルリサーチラボラトリーでは、希少遺伝性疾患検査を主目的とし、「一般社団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会 (CReARID)」が展開する「オプションスクリーニング」事業の規模拡大、対象疾患の拡充をサポートする活動を進めています。今後、現在実施している新生児を対象としたスクリーニング検査に加え、新生児だけではなくすべての患者様に対して、確定検査や治療効果をモニタリングするバイオマーカーの検査など、希少遺伝性疾患の診断から治療に至るまでの包括的な検査を実施できる体制の構築を進めてまいります。



【アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー設立の背景】

先天性の病気でも治療が可能なものが増えていますが、治療が可能であっても、症状が出る前に見つけて診断し、早く治療を始めないと、望ましい治療効果が得られない病気があります。また、特徴的な症状が少なく、通常の診療では発見が難しい病気もあります。希少遺伝性疾患の治療は、発症早期、望ましくは発症前から開始することが重要です。現在、地方自治体の事業として、特定の遺伝性疾患の検査を日本で出生したすべての新生児に対して実施する「新生児マススクリーニング」が無償で提供されています。

「新生児マススクリーニング」の対象疾患以外の疾患でも、早期発見・早期治療が必要な疾患については、「一般財団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会 (CReARID)」が、希望者を対象に有償検査を提供する「オプションスクリーニング」事業を展開しています。このオプションスクリーニング事業において、現在、かずさ DNA 研究所で検査が実施されていますが、規模拡大、対象疾患の拡充、バックアップ体制の構築等のため、当社においても検査が実施できる体制を構築することになりました。また、当社では、急速に進歩する希少遺伝性疾患の治療の開発と並行して、その診断に必要な検査の実施及び検査技術の開発を通して、治療法の発展に貢献したいと考えています。

【意義・目的】

- オプションスクリーニング事業にける検査実施のバックアップ体制の構築を通して、規模拡大、対象疾患の拡充への寄与
- スクリーニング後の確定診断に必要な検査の実施
- 新たな対象疾患に対する検査方法の研究開発
- 当社が開発する遺伝性疾患治療製品の治験対象患者の特定に必要な検査体制の整備
- 当社開発品を含む遺伝性疾患治療製品を適用するための確定診断の実施体制整備

なお、今年度の通期連結業績に与える影響は軽微です。

アンジェス株式会社お問い合わせ先
一般のお問い合わせ <https://www.anges.co.jp/contact/>
報道関係のお問い合わせ <https://www.anges.co.jp/press/>